

影武者通信/NO.2



黒澤 明  
監督作品

# 影武者

通信 NO.2



黒澤 明監督作品

# 影武者

御殿場から北海道へと黒澤軍団は進む

## ●御殿場に武田屋形出現



東名高速御殿場インターを降りて国道二四六号線を松田へもどるように車を進めること二〇分、富士スピードウェイの裏側にあたるあたりに、突然、武田屋形が出現する。「影武者」の撮影用に建てられた巨大にして豪華な御殿場オープンセットである。

建築開始が今年の四月、完成が八月中旬、一五〇〇坪の広大な土地いっぱいにて建てられたこのオープンセット。費用はおよそ一億二千万円。古絵図・躰躰崎武田屋形を参考にして、作られた。正面にあたる正門を入ると広場があり、その向こうに武田信玄の住居となる本主殿の一部。右手には唐門があり、それをくぐり抜けると御裏方の住居、八角形の毘沙門堂、不動堂、飯縄堂と見事なセットが建ち並ぶ。

このセットを使つての「影武者」の撮影は八月下旬から九月にかけて順調に行われた。セット内を伝騎の乗った馬が砂

塵を上げて走り抜ける。ヨロイ、カブトに身を包んだ武者たちが、激しく動き廻り出陣してゆく。武田の武将たち、武田信廉（山崎努）、山県昌景（大滝秀治）馬場信春（室田日出夫）らが、その様子をじっくりとみつめる。合戦準備の光景が再現されてゆく。正に黒澤映画の真髄が見えてきた。これでも、このセットで予定されているシーンとしてはおとなしい方だ。十一月下旬から、第二期御殿場ロケが開始されるが、どんなシーンが見られるか？ 今から楽しみであり、考えただけでも興奮を抑えることはできない。



黒澤監督はこの御殿場ロケを終えて北海道へ飛んだ。苫小牧市の近郊の原野で高天神城の合戦と、武田軍が織田信長軍の鉄砲隊に破れた長篠の合戦の撮影のためである。十月から十一月中旬にかけて、四五日間に及ぶ北海道ロケで、「影武者」のクライマックス・シーンが行なわれるのだ。「影武者通信No.3」では、この北海道ロケの様をお伝えしよう。